

特別展

「自然のこえ命のかたち
—カナダ先住民の生み
だす美—」

会期 二月八日(火)まで
会場 特別展示場
※研究者によるギャラリートークをおこないます。
実施日 一月三日、七日、八日、一二日、一四日、一五日、二二日、三〇日、二八日、二九日
時間 一三時三〇分～一四時一五時、一五時三〇分(一四日のみ、映画会のため変更あり)
■関連ワークショップ
①「ヤマアラシの針のアクセサリ—クイルづくり—」
実施日 一月五日(日)
②「ステンシル版画づくり」
実施日 一月二日(日)
③「シルクスクリーン版画づくり」
上記イベントのお問い合わせ
情報企画課情報企画係
電話 〇六六八七八八五三三
(平日九時～一七時)
E-mail:kokkyo@idc.
minpaku.ac.jp
FAX 〇六六八七八八七五三三

企画展

「点字の考案者ルイ・ブ
ライユ生誕二〇〇年記
念—点天展—」

会期 一月二四日(火)まで
会場 常設展示場内
■関連国際シンポジウム
「点字の可能性—二世紀の
新たなルイ・ブライユ像を求めて」
実施日時 一月二二日(日)
三時～八時・三日月・祝
九時三〇分～一八時
会場 第四セミナー室
定員 七〇名(申し込み先着順)
参加費 無料
参加申し込み方法
「点字の可能性」と明記の上
氏名・電話番号・メールアドレス
またはFAX番号・所属(任
意)・参加希望日を書いてお申
し込みください。
E-mail:kokkyo@idc.
minpaku.ac.jp
FAX 〇六六八七八八四七九
シンポジウムのお問い合わせ
民族文化研究部(広瀬)
電話 〇六六八七八八四三七

◆特別公開講義「アイヌとア
ボリジナルのいま」

実施日 一月二八日(土)
時間 一時～一七時一五分
(開場一〇時半)
会場 講堂
定員 三〇〇名(当日先着順)
参加費 無料
お問い合わせ
電話 〇六六八七八八三三五
(平日九時～一七時)

◆みんなく映画会
特別展関連「トータル グラ
スロックス・ボールの返還」

実施日 一月一四日(土)

時間 一三時三〇分～一五時
三〇分(開場一三時)
会場 講堂
定員 四五〇名(当日先着順)
参加費 無料
お問い合わせ
電話 〇六六八七八八二二〇
(平日九時～一七時)

◆カムイノミ(神への祈り)

民博に収蔵されているアイヌ
関連標本資料の背後のカムイ
(神)に対してカムイノミをおこ
ないます。
日時 一月二六日(木)一〇時
三〇分
会場 民博前庭(雨天の場合は、
屋内への変更あり)

◆音楽展示・言語展示が改修の
ため閉鎖になります

期間 一月二六日(木)～
一月二日(木)は天皇
在位二〇周年奉祝記念行事、
一四日(土)・一五日(日)は、
関西文化の日のため、常設展・
特別展を無料で観覧いただけ
ます。ただし、自然文化園を
通行される場合は、入園料が
必要です。

刊行物紹介

■中牧弘允・日置弘一郎 編
『会社のなかの宗教
—経営人類学の視点—』
東方出版 定価：3,990円(税込)
さまざまな関係でつながっている会社と宗教。天理教、聖徳太子信仰、キリスト教、イスラム教と企業など、会社のなかに見られる宗教活動や経営者の宗教的信念、また従業員の宗教的文化背景などに焦点を当てた人類学的な記述と分析を試みである。



■川口幸也 編
『展示の政治学』
水声社 定価：5,040円(税込)
博物館、美術館の展示はもとより、ファッション、儀礼、儀式、建築、都市、軍事まで、多彩な展示のありようを具体的に採りあげて、その政治性について論じている。



■松井健 責任編集
『民博通信』2008 No.123
特集 生業と生産の社会的布置からのアプローチ
■陳天璽 責任編集
『民博通信』2009 No.124
特集 国籍とパスポートの人類学

〈訂正〉10月号『学校と博物館でつくる国際理解教育』の出版社は明石書店の誤りでした。

みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30～15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第378回 11月21日(土)
「変身」の美学—イヌイットと北西
海岸先住民のアートの世界
講師 大村敬一(大阪大学大学院准教授)
イヌイットと北西海岸先住民のアートには、「変身」をテーマにするものが多くあります。動物の身体が分割・変形されたり、人間が動物に、動物が人間に変身したりします。この講演では、イヌイットと北西海岸先住民のアートにあらわれる「変身」の表象を紹介しながら読み解き、その「変身」というテーマが彼らの生活の中でも哲学的な意味を解き明かします。



「人間のように
振る舞う
カリブー」
(国立民族学
博物館蔵)

第379回 12月19日(土)
被災地が育む新たな絆
講師 太田敏一(神戸とニューオーリンズの
ジャズ交流実行委員会事務局/神戸市職員)、
林 勲男(民族社会研究部准教授)
兵庫県南部地震(1995年1月)と新
潟県中越地震(2004年10月)のそ
れぞれの被災地では、被災という経験
からの教訓の発信に留まらず、新たな
地域間交流が生まれています。被災地
の復興、被災者の生活再建にとって、
こうした地域間交流のもつ意味につ
いて考えます。



友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

第378回 12月5日(土)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
人類学者×人類学者(6)
鳥居龍蔵、鹿野忠雄、馬淵東一
—台湾に魅せられた人類学者たち
講師 野林厚志(文化資源研究センター准教授)
日本の人類学者が海外ではじめて本格的なフィールド調査を行ったのが台湾でした。当時、未開の民と考えられていたオーストロネシア系の原住民族に向き合った3人の研究者の足跡をたどりながら、戦前日本の人類学のモードを探ります。

第379回 2010年1月9日(土)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
アラブからみたヨーロッパ
講師 西尾哲夫(民族文化研究部教授)
ヨーロッパの人が「オリエント」をどのように見ているかという視点についてはこれまでも語られてきましたが、その逆の立場から語られることはあまりありませんでした。アラブ、イスラム世界からヨーロッパはどのように見えているのかについてお話しします。

東京講演会 2010年1月17日(日)
先住民の現在を読み解く(1)
アフリカの狩猟採集民の事例から
講師 池谷和信(民族社会研究部教授)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム202
定員●40名(事前申込要)
国際的に先住民としての「権利」が認められる潮流の中で、比較的穏やかに「権利」を獲得していく場合と国際政治をも揺るがすような問題にまで発

展する場合とがあります。各民族の生業形態や社会システムに着目して考えます。

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜～金曜日9時から17時まで
にお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

カナダに息づく動物たちが、
大集合

現在開催中の特別展、会場出口に特設したミュージアム・ショップでは、カナダの大自然に息づく動物たちの、愛らしいぬいぐるみを紹介するコーナー



キーホルダー (630円)、ぬいぐるみ：ラッコ小 (1,575円)、ムース大 (5,980円) など

を設けています。ラッコやビーバー、ハクトウオオワシ、シロクマやムースといった野生動物たちが、キーホルダーやぬいぐるみに「変身」し、皆さまをお待ちしております。

他にも、カナダ先住民の暮らしや美意識が表現された関連グッズも取りそろえております。特別展ご観覧の際は是非ショップにもお立ち寄りください。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp